



日本労働組合総連合会 群馬県連合会(連合群馬)

発行人 金子 編集人 新井 智

群馬県前橋市野中町361番地2 (群馬県勤労福祉センター2F) TEL 027—263—0555 FAX 027—261—0549

2013年8月号

Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

11,030名から集約

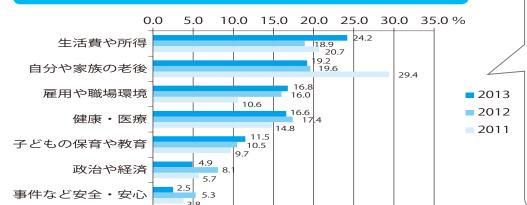
~安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、県民の声を県政に届けます~

2月から5月にかけて実施した県民意識調査では、構成組織・議員懇談会・関係団体、県民の皆さん のご協力を得て、11.030名(組織内5.221名、組織外5.809名)の方から回答をいただきました。 連合群馬では、今後、アンケート結果を分析し、より良い県政につなげるため「2014年度 政策・

制度要求と提言」に反映させ、群馬県知事に提出いたします。ご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

回答者フェースシート 【男女比率】 【年齡区分】 【職業区分】 無職学生その他不明 70歳以上 自営業(家 2.2% 1.8% 不明 不明 4.6% 1.4% 族従業員 1.0% 1 0代 1.4% 専業主婦 60代 L 1.9% 含む) 9.2% 2.6% ____ 4.5% 20代 パート・アル 14.5% バイト・派遣社 女性 50代 員·契約社員 45.1% 男性 30代 19.1% 15.7% 会社員 企業 24.6% 54.5% 団体役員 1.1%農林業 25.0% 公務員 0.8% 9.8%

Q. 心配事・困り事・関心事(2選択) ~過去3年間の比較~



毎年調査している「心 配事・困り事・関心事| は、2003年より1位が 続いていた「自分や家族 の老後」が初めて2位に 後退し、「生活費や所得」 が最も高い値となりまし た。「雇用や職場環境」 も3位に上がっているこ とから、生活に直結する 「働く環境の厳しさ」が 増していることがうかが えます。

Q. 自分や家族の老後に関する不安・ 心配事(2選択)

「金銭的な不安」が最も高く、続いて 「健康でいられるか」、「年金がもらえる か」の2項目が高い値を示しています。 現状の厳しい景気状況や金銭的な蓄 えへの不安を踏まえ、老後においても、 自立した生活を送りたいとの思いがう かがえます。



Q. 公共事業拡大方針についてどう思うか(1選択)

無回答 替成派(「替成」 1.1% 「どちらかといえ 替成 わからない ば賛成」)が過半 17.8% 20.1% 数を超え、反対派 (「反対」「どちら 反対 7.5% かといえば反対」) は約4分の1の割 どちらか 合です。 どちらか といえば といえば 反対 賛成 18.4% 35.0%

Q. 反対・どちらかといえば反対の理由(複数選択)



「反対」「どちらかといえば反対」の3分の1以上の 人が「税金のばらまきにつながる」と考えています。

~教育~

Q. 学校でのいじめ問題への対応について何が必要か。(2選択)



「子ども・親・学校・地域の連携」、「子どもが相談しやすい相談窓口の設置」などが高く、いじめ問題には、社会全体で対応することが望ましいとの思いがうかがえます。

Q. 学校での体罰問題で必要な対策は何か。(2選択)

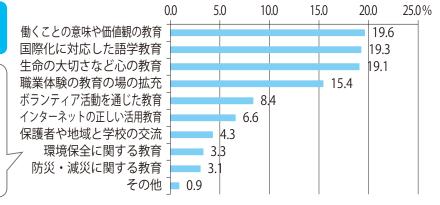


体罰問題には、「子どもが相談しやすい相談窓口の設置」とともに教職員へのサポート体制の強化や、 地域を巻き込んだ環境整備の必要性を求めている ことがうかがえます。

Q. 社会に出て役立つ学校教育に向け 充実すべきことは何か。(2選択)

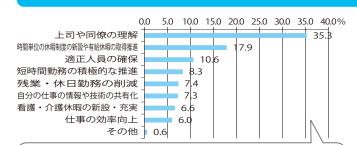
「働くことの意味や価値観」「国際化に対応した語学」「生命の大切さなど心」の教育の3つがほぼ同じ割合で高い値を示しています。 実践的な語学教育とともに、倫理観や道徳心など「心の教育」を学校に求めていることがうかがえます。

また、働くことの重要性も求められています。



~子育て~

Q. 仕事と子育ての両立について職場で必要なこと(2選択)



「上司や同僚の理解」が他の項目を大きく引き離して高い値となっており、仕事と子育ての両立には、制度の充実より職場内の理解や会社風土の醸成を求めていることがうかがえます。

Q. 行政で強化してほしい子育て施策(2選択)

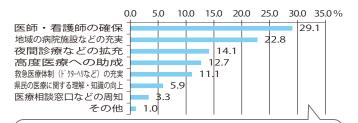


「子ども手当の充実・強化」が最も高く、子どもに関する教育費の負担など、金銭的な支援や、保育環境の整備と充実を求めていることがうかがえます。

3

~福祉~

Q. 医療に関して行政が取り組むべき施策(2選択)



「医師・看護師の確保」が最も高く3割近い値を示し、これに「地域の病院施設などの充実」が続きます。 今後、益々高齢化が進む現状を踏まえ、地域医療 体制の整備強化を求めていることがうかがえます。

~防犯~Q.振り込め詐欺の対策で強化すべきこと(2選択)



「ATMなどのパトロールの強化」「金融機関の窓口による注意喚起の強化」の2項目がほぼ同率で高い値となっており、周りのサポートにより水際で被害を食い止める対策が有効であるとの考えがうかがえます。

Q. 介護·福祉サービスの改善のため必要な行政施策(2選択)



「若者就業支援事業との連携」が最も高く、「介護士等の 処遇改善に向けた指導強化」「介護士の養成に向けた職業訓練の充実」など、介護の担い手としての若者支援と、処遇 改善への適切な指導を求めていることがうかがえます。

~ 喫緊の課題~Q.交通事故削減に向け必要な施策(2選択)



「悪質な交通違反の取り締まり強化」が最も高い 値となっていますが、それに次いで、「歩行者・自 転車のマナー向上」も求められています。

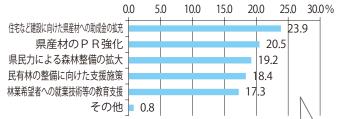
~農林業~

Q. 農業の活性化のために必要だと思うこと(2選択)



「農業希望者への就農技術教育等の支援」、「県内農産物の ブランド化・販路拡大」など、新たな農業従事者への支援と、 農産物の販路の開拓が求められていることがうかがえます。

Q. 林業再生に向け重点的に取り組むべきこと(2選択)



「住宅など建設に向けた県産材の助成金の拡充」が最も高く、県産材の助成支援等により消費拡大をはかることが林業活性化につながるとの思いがうかがえます。

~環境~

Q. 行政が行う地球温暖化防止策(2選択)



「太陽光や風力など自然エネルギーの拡充」が、温暖化防止策として最も期待が高い値となりました。

Q. 放射能に対する行政の重要な取り組み(2選択)



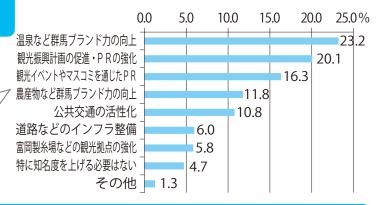
「放射線に関する正しい知識の周知」が最も高く、「放射線量の測定結果」は現在、HP等により情報発信されていますが、より広範な周知を求めていることがうかがえます。

~群馬の経済~

Q. 知名度向上のために必要な行政の取り組み(2選択)

「温泉など群馬ブランドカの向上」が最も高く、「観光振興計画の促進・PRの強化」「観光イベントやマスコミを通じたPR」が続きます。

群馬の豊かな観光資源を活用した取り組み の強化を求めていることがうかがえます。

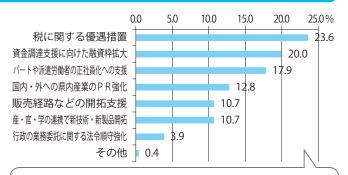


Q. 群馬の経済活性化で行政に求めること(2選択)

10.0 20.0 30.0% 中小企業への支援やサポート 22.8 ものづくり産業への行政支援 21.4 Uターンなど優秀な人材確保 12.8 交通網を生かした工業団地への企業誘致 12.4 産・官・学と連携した最先端技術開発 11.4 中小企業の連携による技術力の活用 9.5 道路交通網など利点のPR強化 6.4 中国などアジア圏を見据えた観光客の誘致 2.6 その他 1 0.8

「中小企業への支援やサポート」「ものづくり産業への行政支援」の2項目が高く、ものづくり産業が盛んな群馬県の立地を生かした、社会基盤の強化を求めていることがうかがえます。

Q. 企業に向けた行政で重要なこと(2選択)



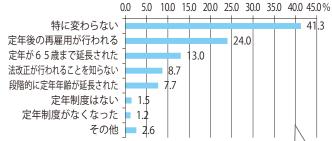
「税に関する優遇措置」が最も高く、「資金調達支援 に向けた融資枠拡大」など、財政面・資金面での行政 支援を求めていることがうかがえます。

~労働法改正について~【企業団体役員・雇用労働者のみ】

Q. 労働契約法の改正により職場環境が変わったか(複数選択)

Q. 高年齢者雇用安定法の施行で変化があったか(1選択)





どちらも「特に変わらない」が最も高く、「法改正が行われることを知らない」方が1割程度います。 法の改正施行が本年4月からとなっており、今後、具体的な取り組みが行われるものと思われます。

~群馬県への提言に向け(今後のイメージ)~

(写真:政策フォーラム・知事提言は昨年のもの)



今年度の県民意識調査は、労働法制等の改正による具体的な意識把握を目的に、企業・団体役員や雇用労働者の意見把握を行うとともに主婦、農林業者、学生等、幅広い年齢層から「雇用・労働」「福祉・社会保障」「教育」「農林業」「行政運営」「環境」「防犯」などの観点から県民ニーズを把握しました。調査結果から浮き彫りになったさまざまな課題は、政策フォーラム(8/3)や各種委員会にて論議を行い、8月28日に「2014年度 政策・制度要求と提言」として群馬県知事に提出する予定です。なお、2013年県民意識調査結果の詳細はHPに掲載します。